

大東京信用組合 2022年度上半期 ディスクロージャー誌〈情報編〉

大信 Report

2022

大信の現状を知る編

2022年4月1日から
2022年9月30日まで

大信の現状についてはこちらから

地域の発展
お客さまの繁栄のために



協同組織金融機関としてお取引 問題解決に向けた本業



会長 柳沢 祥二

皆さまには平素より大東京信用組合に格別なご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年も、令和4年度9月期の業務内容を取りまとめた「大信Report2022」を作成いたしました。

本誌をご高覧賜り、当組合に対するご理解をさらに深めていただければ幸甚に存じます。

現在、わが国では新型コロナウイルス感染症拡大の長期化やウクライナ情勢に加え、アメリカの大幅な金利引き上げに伴う急激な円安の影響から、原油や原材料の高騰、さらには電気料金などエネルギー価格の高騰、人手不足等が大きな打撃となり、経済環境の不確実性は非常に高まっております。

また、中小企業・小規模事業者においては、実質無利子・無担保融資や各種補助金等の政府の諸施策により、資金繰りの悪化はこれまで緩和されてきておりますが、コロナ禍等で傷んだ経営の立て直しは、これからがまさに正念場となるものと思われまます。

協同組織金融機関である当組合は、今こそ、基本理念である「相互扶助」の精神を遺憾なく発揮し、これまで応援してきていただいたお取引先をしっかりサポートし、「金融支援」は当然のこと、皆さまの事業における問題解決へ向けた「本業支援」を積極的に展開するとともに、今後もその姿勢を継続してまいります。

経営理念

組合員
(お客さま)

相互扶助の
精神

大信

職員

『大東京信用組合は、
地域に密着し地域社会に奉仕する。』

私たちは、組合員、お取引先の皆さまとの「心・ふれあい(ハート・トゥ・ハート)」の信頼関係を大切にしております。
また、中小企業金融の円滑化と地域経済の活性化に取り組み、良質な金融サービスの提供と信用組合ならではの独自性の発揮に努め、ベストパートナー・バンク(身近で頼りになる大信)を目指し、地域社会とともに歩んでまいります。

先をしっかりとサポートし、 支援を継続的に取り組みます。

さて、令和4年9月期の業績ですが、収益は、一般的に営業利益に近い「業務純益」、そして「経常利益」、最終の「当期純利益」、いわゆる利益三部門はともに計画を上回る実績を確保することができました。

また、健全性を示します不良債権比率は2.27%と過去最低水準となり、自己資本比率は10.08%と高い水準を維持しております。厳しい環境下で課題はあるものの、皆さまのお蔭さまをもちまして概ね計画に対し順調に進捗しております。

今後も、当組合の経営ビジョンであります「心・ふれあい」の信頼関係を大切にするとともに、「本物のお客さま本位」を目指し、役職員一同従前にも増して全力を尽くしてまいります。

また、金融支援に留まらず、人口減少や少子高齢化といった構造的問題に加え、気候変動問題やデジタル化の進展など急速な社会問題が生じており、それらに対応していくためにもお客さまの幅広いニーズをしっかりと捉え、それにお応えしてまいります。

皆さまにおかれましては、一層のご指導、ご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和4年11月

大東京信用組合 会長 柳沢 祥二
理事長 内田 通郎



理事長 内田 通郎

組合概要

名称	大東京信用組合 (略称:大信)	自己資本の額	35,128百万円
所在地	東京都港区東新橋2-6-10	自己資本比率	10.08%
創設	1952年(昭和27年) 9月6日	店舗数	41店舗
理事長	内田 通郎	職員数	611名(男性354名、 女性257名)
出資金	14,377百万円	営業地区	東京都一円(離島を除く)
組合員数	98,166名	事業内容	預金・融資・内国為替・ 外国為替(取次)・ 代理業務・国庫金収納・ その他 (令和4年9月末現在)
総資産	690,146百万円		
預金積金残高	651,394百万円		
貸出金残高	337,089百万円		

大信の現状を知る編

CONTENTS

- P 1 トップメッセージ
- P 3 令和4年度 事業計画の概要
- P 5 令和4年9月期 業績概況
- P 8 財務諸表
- P 9 都内にひろがる
大信のネットワーク

令和4年度 事業計画の概要

実施期間
令和4年4月～令和5年3月

◆ 大信の意識・行動 ◆

- 組合員事業者の未曾有の危機に立ち向かう!
- 組合員の事業の存続・発展のために事業の改善に踏み込む!
- 課題解決の本業支援に邁進する!

新・第1次中期経営計画

新・第2次中期経営計画

令和4年度 事業計画のテーマ

コロナ禍を組合員(お客さま)と

[今年度の最重要課題は、“本業支援を更に

〈重点施策〉

1 人材の育成

魅力ある組織・職場づくりの 実現(エンゲージメントの実践)を 目指して

- やりがい・働きがいのある職場環境の整備とワークライフバランスの推進
- 取引先支援に向けた研修・資格取得制度の充実
- 女性活躍に向けた対応(女性活躍推進法への対応)
- 人材の確保
- 心身の健康管理

2 経営体質の強化

基本業務と 基本行動の実践

- 業容および取引基盤の維持・拡充
- 店舗戦略の再構築
- 職場労働環境の整備
- 営業活動の見直し
- ガバナンスとリスク管理態勢の強化
- 徹底した基本業務・基本事務の遂行
- 役職員の円滑なコミュニケーション
- 顧客志向とお客さま本位の業務運営

「経営理念」の実践 大東京信用組合は、

令和5年度スタート!

新・第3次中期経営計画

これから大信がめざすもの

- 未来のためのサステナビリティを意識した経営
- 原理原則に基づく本物志向
- 事業性評価につながる訪問活動と対面営業力の強化
- 事業性評価をベースにした持続可能なビジネスモデルの確立
- 営業基盤の再構築に向けた経営方針・営業戦略
- 将来に向けて生き残るための経営体質の強化
- 社会・経済環境等の変化に適合するための多様性人材の育成
- 将来を見据えたDX、デジタル化・IT化への取り組み

共に生き、共に乗り越える

バージョンアップ[®]して取り組むこと

3 営業基盤の再構築

コア業務の強化による
安定的な営業基盤の確保に向けて

- コア業務の強化:お客さま本位の業務運営
- 本業支援の必要性・重要性の理解
- 事業性評価に基づく本業支援の実践と専門家等へのつなぎ力の発揮
- 持続可能なビジネスモデルの確立
- 融資取り組みについての再確認・再認識

4 DX、デジタル化・IT化への対応

業務の効率化・簡素化と
IT化は両輪

- 「心・ふれあい」による対面営業を特性とするための「アナログ」と「デジタル」技術の融合
- 基幹系システムの構築とサポートシステム等の体系化による最適化
- 現状の業務と事務処理の効率化・簡素化による顧客との対面営業時間の確保

5 創立70周年に関する諸施策の実施

- 「70周年プロジェクトチーム」における周年事業として相応しい施策の検討・実施

地域に密着し地域社会に奉仕する



① 預金・貸出金の状況

■ 預金残高・貸出金残高の推移

預金残高 **6,513**億円
貸出金残高 **3,370**億円

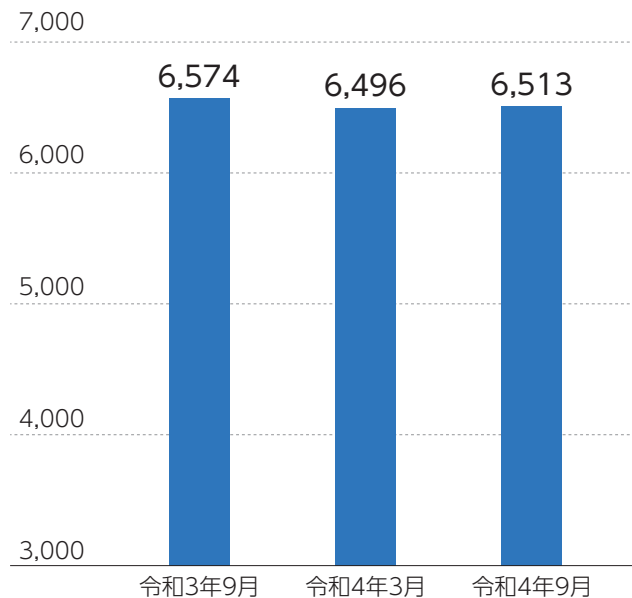
信用のバロメーターとも言うべき預金残高は、多くのお取引先の皆さまからご信頼をいただき、令和4年3月末に対し17億円の増加となりました。

また、貸出金残高は、新型コロナウイルス関連融資の返済が本格的に始まったことから、令和4年3月末に対し63億円の減少となりました。

今後もお取引先からのニーズに対して、安定的な資金供給に努めてまいります。

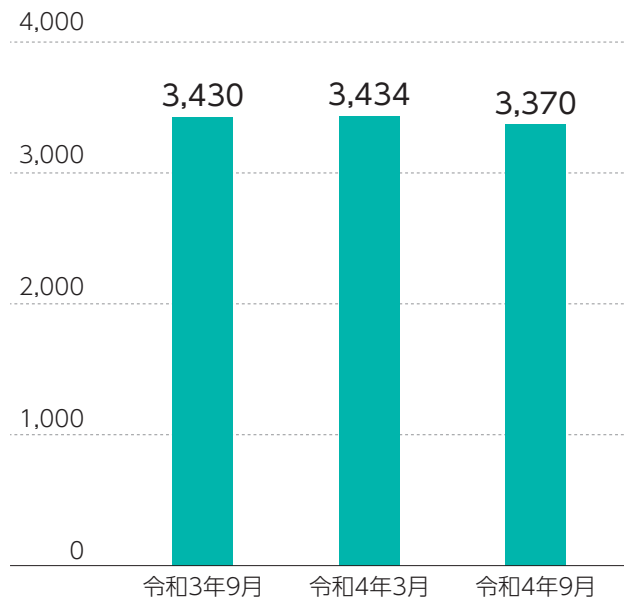
預金残高

(単位:億円)



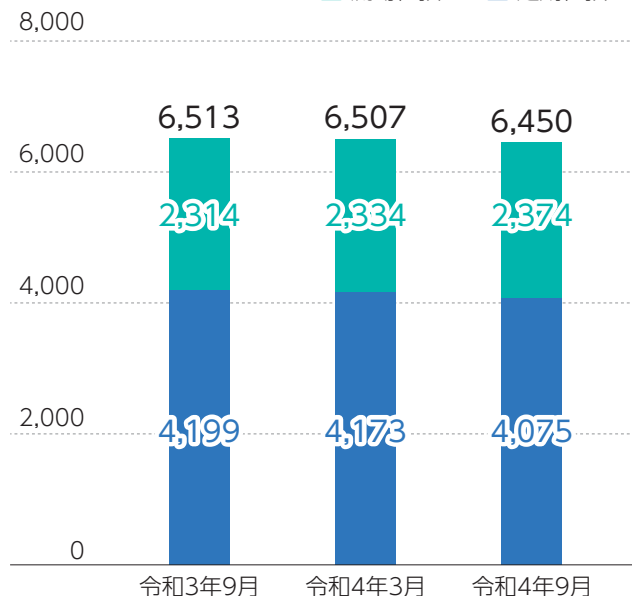
貸出金残高

(単位:億円)



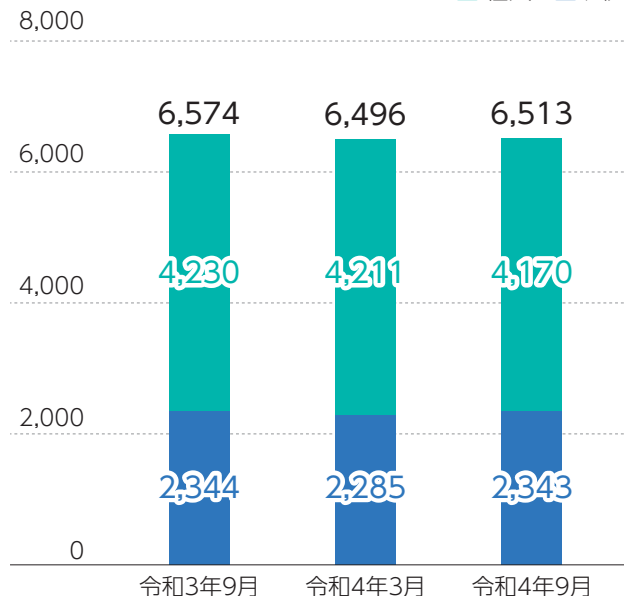
預金種目別平均残高

(単位:億円)



預金者別預金残高

(単位:億円)



② 収益の状況

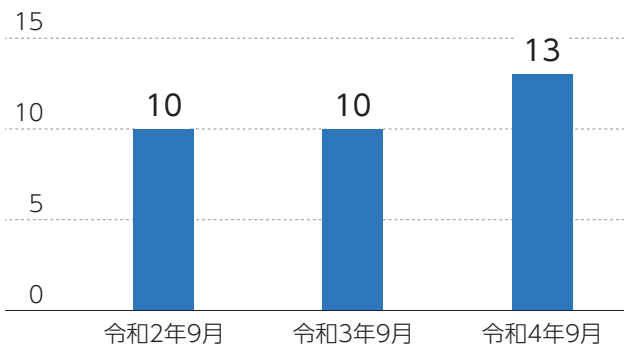
■ 業務純益・コア業務純益・経常利益・当期純利益の推移

業務純益	コア業務純益	経常利益	当期純利益
13億円	13億円	16億円	11億円

厳しい経済環境の中、本業である預貸金業務に特化した事業展開に取り組むとともに経費の削減等経営の合理化に努めました結果、業務純益は13億56百万円、コア業務純益は13億41百万円、経常利益は16億17百万円、当期純利益は11億82百万円となり、利益3部門およびコア業務純益は全て前年同期を上回りました。

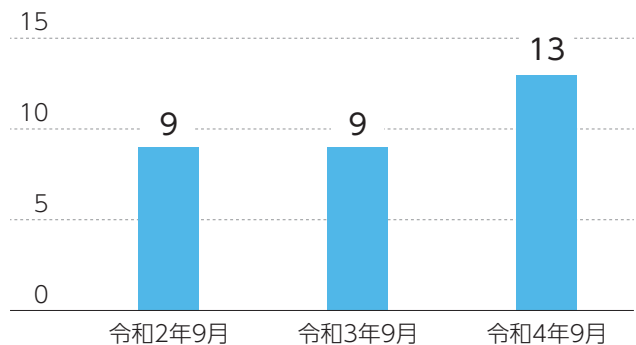
業務純益

(単位:億円)



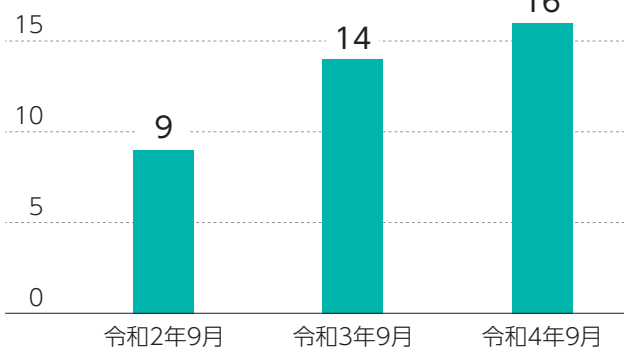
コア業務純益

(単位:億円)



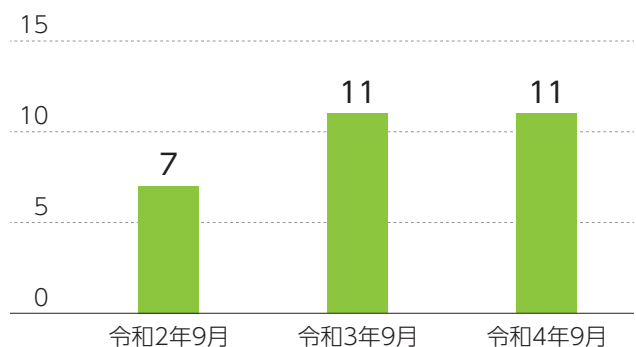
経常利益

(単位:億円)



当期純利益

(単位:億円)



用語解説



▶ 業務純益

金融機関の基本的業務に係る利益です。

▶ 経常利益

通常の営業活動に係る利益です。経常的な収益力を見る上で重要な利益です。

▶ コア業務純益

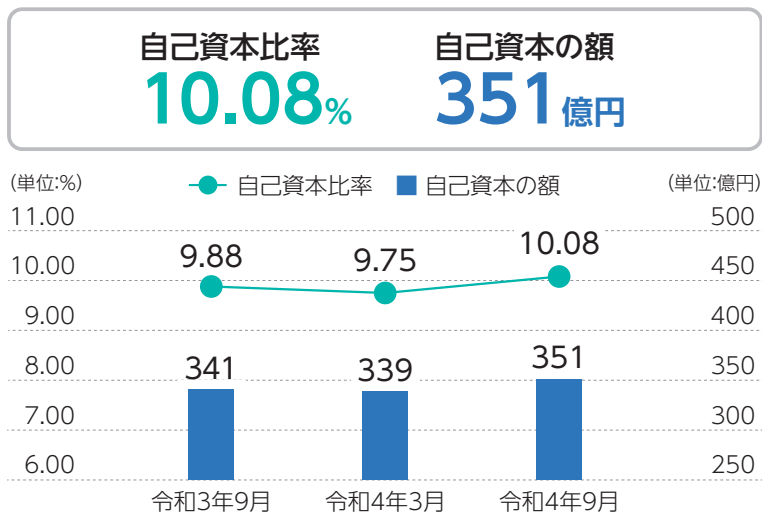
「業務純益」から金融環境次第で大きく変動する「一般貸倒引当金繰入額」および「国債等債券売却損益」を控除したものであり、より実質的な金融機関本来の業務による利益を表しております。

▶ 当期純利益

経常利益に特別利益と特別損失を加減し、法人税などを控除した利益で、最終的な利益を表します。

③ 自己資本比率の状況

■自己資本比率と自己資本の額の推移



自己資本比率の算出

自己資本比率は、金融機関の健全性を示す重要な経営指標です。信用組合には国内基準が適用され、4%以上であることが求められています。

●自己資本比率の求め方

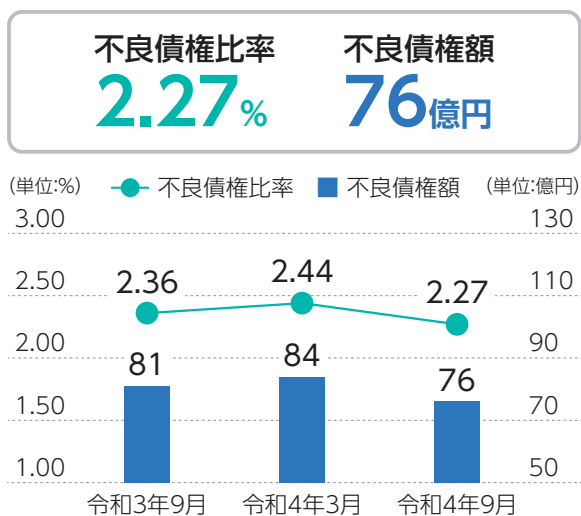
$$\frac{\text{自己資本の額 (351億円)}}{\text{リスク・アセット等 (3,482億円)}} \times 100 = 10.08\%$$

自己資本比率とは、リスク・アセット（保有する資産にその安全度に応じた掛目を乗じた金額）などに対して、出資金などの自己資本がどれくらいあるかを示す指標で、金融機関の健全性を表す代表的な指標です。

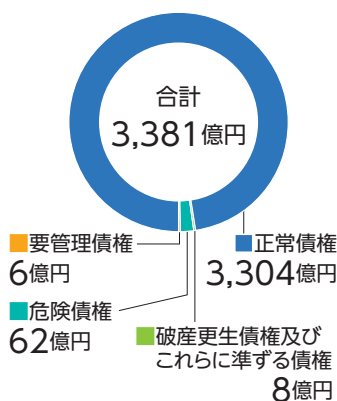
当組合の自己資本比率は、令和4年3月末に対して0.33ポイント上昇し10.08%となり、国内基準を大きく上回っております。

④ 不良債権の状況

■不良債権比率と不良債権額の推移



正常債権
3,304億円



お取引先に対する円滑な資金供給と経営改善・再生支援、オフバランス化等に取り組み、不良債権額は令和4年3月末に対して約7億円減少し76億円となりました。

その結果、不良債権比率は2.27%となり、令和4年3月末に対し0.17ポイント改善しました。

用語解説



▶ 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。自己査定区分における破綻先・実質破綻先が該当します。

▶ 危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。自己査定区分における破綻懸念先が該当します。

▶ 要管理債権

「三月以上延滞債権」および「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。自己査定における要注意先の一部が該当します。

▶ 正常債権

債務者の財政状態および経営成績に特に問題がない債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。自己査定区分における要注意先の一部と正常先が該当します。



貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部				負債及び純資産の部			
科目	令和4年9月	令和3年9月	令和4年3月	科目	令和4年9月	令和3年9月	令和4年3月
現金	8,114	6,821	9,232	預金積金	651,394	657,477	649,658
預け金	188,946	205,724	190,651	借入金	—	700	700
有価証券	138,917	124,843	131,131	其他負債	1,618	1,859	2,486
貸出金	337,089	343,031	343,487	賞与引当金	226	228	222
其他資産	4,812	5,844	4,454	退職給付引当金	270	337	317
有形固定資産	10,826	11,657	11,075	役員退職慰労引当金	257	339	364
無形固定資産	1,512	1,532	1,526	睡眠預金払戻損失引当金	1	4	1
繰延税金資産	473	—	—	偶発損失引当金	200	233	213
債務保証見返	85	116	92	繰延税金負債	—	227	81
貸倒引当金	△ 633	△ 788	△ 778	再評価に係る繰延税金負債	121	136	121
(うち個別貸倒引当金)	(△ 375)	(△ 424)	(△ 432)	債務保証	85	116	92
				負債の部合計	654,175	661,661	654,260
				出資金	14,377	14,708	14,295
				普通出資金	12,827	13,158	12,745
				その他の出資金	1,550	1,550	1,550
				資本剰余金	1,050	1,050	1,050
				利益剰余金	20,494	19,052	19,569
				組合員勘定合計	35,921	34,810	34,914
				評価・換算差額等合計	49	2,310	1,698
				純資産の部合計	35,970	37,121	36,612
資産の部合計	690,146	698,782	690,873	負債及び純資産の部合計	690,146	698,782	690,873

損益計算書

(単位：百万円)

科目	令和4年9月	令和3年9月	令和4年3月	科目	令和4年9月	令和3年9月	令和4年3月
経常収益	5,259	5,239	10,168	特別利益	2	125	376
資金運用収益	4,698	4,500	9,023	特別損失	1	0	474
貸出金利息	3,513	3,544	7,103	税引前当期純利益	1,618	1,562	2,406
預け金利息	116	113	227	法人税、住民税及び事業税	353	424	729
有価証券利息配当金	934	746	1,536	法人税等調整額	82	△ 4	55
その他の受入利息	132	96	155	法人税等合計	435	419	784
役員取引等収益	196	215	413	当期純利益	1,182	1,142	1,621
其他業務収益	22	95	140	繰越金(当期首残高)	661	692	692
国債等債券売却益	14	90	103	土地再評価差額金取崩額	—	114	152
その他の業務収益	8	5	36	当期末処分剰余金	1,844	1,949	2,467
其他経常収益	342	427	591				
貸倒引当金戻入益	145	58	68				
株式等売却益	121	323	447				
その他の経常収益	75	44	75				
経常費用	3,642	3,803	7,664				
資金調達費用	123	139	269				
預金積金利息	122	139	269				
その他の支払利息	0	0	0				
役員取引等費用	136	163	304				
其他業務費用	1	2	2				
経費	3,312	3,441	6,874				
其他経常費用	67	55	212				
経常利益	1,617	1,436	2,504				

(注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

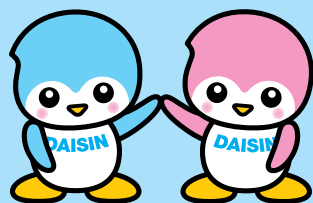
2. 本資料に掲載されている9月末の計数につきましては、仮決算のため監査法人の法定監査を受けたものではありません。

都内にひろがる 大信のネットワーク

本部 〒105-8610 東京都港区東新橋2-6-10 TEL 03(3436)0111(代)

有人店舗・出張所 (令和4年9月末日現在)

店舗名	ATM								台数	住所	電話番号 (代表番号)
	平日 ◎印 8:00~21:00 △印 8:00~20:00	土曜 8:45~17:00	日曜 8:45~17:00	祝日 8:45~17:00	年末 (12/31) 8:45~17:00	年始 (1/1~3) 8:45~17:00	現金振込 (平日のみ) 8:45~15:00				
本店営業部	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒105-8610 港区東新橋2-6-10	03(3436)0121	
品川駅東口支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒108-0075 港区港南2-3-1	03(3474)8326	
十条支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒114-0034 北区上十条2-31-1	03(3907)5111	
目黒支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒153-0064 目黒区下目黒6-18-25	03(3711)5656	
高円寺支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒166-0003 杉並区高円寺南4-45-4	03(3318)1111	
亀戸支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒136-0071 江東区亀戸1-27-9	03(3685)3351	
蒲田支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒144-0052 大田区蒲田4-22-17	03(3732)3221	
日暮里支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒116-0014 荒川区東日暮里5-11-5	03(3802)8181	
新宿支店	△	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒160-0022 新宿区新宿5-1-1	03(3356)2151	
三軒茶屋支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒154-0024 世田谷区三軒茶屋2-14-10	03(3424)3181	
新小岩支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒124-0023 葛飾区東新小岩5-2-6	03(3691)9536	
大塚支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	1	〒170-0004 豊島区北大塚1-34-12	03(3918)6411	
銀座支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒104-0061 中央区銀座2-12-9	03(3542)8051	
吉祥寺支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町4-10-10	0422(22)9221	
恵比寿支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒150-0021 渋谷区恵比寿西2-7-8	03(3463)0561	
常盤台支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒174-0063 板橋区前野町2-4-2	03(3969)2535	
戸越支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒142-0041 品川区戸越2-6-1	03(3786)5121	
府中支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒183-0023 府中市宮町1-33-11	042(363)7511	
押上支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒130-0002 墨田区業平4-1-2	03(3625)5001	
田町駅前支店	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒108-0014 港区芝5-16-2	03(3453)3201	
荏原駅前支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒142-0053 品川区中延5-1-1	03(3786)8161	
福生支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒197-0011 福生市福生1004	042(553)0611	
品川支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒140-0004 品川区南品川2-17-6	03(3474)1333	
西蒲田支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒146-0094 大田区東矢口3-20-5	03(3738)1106	
大井支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒140-0011 品川区東大井6-9-6	03(5493)1911	
八王子営業部	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒192-0081 八王子市横山町24-1	042(642)0201	
中野山王出張所	◎	◎	◎	×	◎	×	◎	2	〒192-0042 八王子市中野山王3-5-9	042(626)4111	
日野支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒191-0011 日野市日野本町2-18-11	042(582)2121	
西八支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒193-0835 八王子市千人町2-3-18	042(661)6221	
石川支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒192-0032 八王子市石川町522-4	042(646)3011	
青山支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒107-0061 港区北青山2-12-32	03(3401)0145	
保谷支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	〒178-0064 練馬区南大泉4-55-5	03(3924)3311	
立川支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒190-0011 立川市高松町2-11-24	042(524)6681	
堀ノ内支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒166-0013 杉並区堀ノ内3-3-15	03(3311)1141	
三鷹支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	1	〒181-0013 三鷹市下連雀3-35-1	0422(48)2311	
東大和支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	2	〒207-0014 東大和市南街3-55-8	042(567)2011	
荻窪支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒167-0043 杉並区上荻1-19-9	03(3391)1931	
富士見台支店	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	1	〒177-0034 練馬区富士見台2-18-5	03(3999)7163	
浅草支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒111-0034 台東区雷門2-17-14	03(3842)2011	
花畑支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒121-0061 足立区花畑4-37-16	03(3859)2111	
足立支店	◎	◎	×	×	◎	×	◎	1	〒123-0845 足立区西新井本町4-8-16	03(3898)2111	



※窓口営業時間 短縮のお知らせ
 新型コロナウイルス感染症の予防および拡大防止のため、当面の間、営業時間を午前9時～午後3時まで短縮させていただきます。通常より1時間早い閉店となりますのでご注意ください。

無人出張所

店舗名	ATM								住所
	平日 ◎印 8:00~21:00 ◇印 8:00~18:00	土曜 8:45~17:00	日曜 8:45~17:00	祝日 8:45~17:00	年末 (12/31) 8:45~17:00	年始 (1/1~3) 8:45~17:00	現金振込 (平日のみ) 8:45~15:00	台数	
京浜蒲田出張所	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	1	〒144-0052 大田区蒲田4-5-7
十条銀座出張所	◎	◎	×	×	◎	×	×	1	〒114-0031 北区十条仲原1-5-9

●ATM設置状況 (令和4年9月末日現在)

区分	ATM
店舗内	70台
店舗外	2台
計	72台



各種セミナーの開催

しん研青年部会「第22回しん研青年部会セミナー」開催



令和4年8月「しん研青年部会」のセミナーが八王子営業部会場・オンライン配信のハイブリッド形式で開催されました。

今回は会員相互の懇親を深めることに重点を置き、「文藝春秋」編集局長兼編集長の新谷学氏より「親しき仲にもスキャンダル」と題しご講演いただきました。

「経営者保証に関するガイドライン」への取り組み

当組合では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理等の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しております。

また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めております。

企業のライフステージに応じた取引先企業への取り組み状況

1. 創業・新事業支援 (令和4年度)

● 融資実績	19件	98百万円
保証協会付創業支援融資	15件	80百万円
日本政策金融公庫との 協調創業支援融資	2件	14百万円
東京都「女性・若者・ シニア向け」創業融資	2件	4百万円

2. 外部機関・外部専門家等への 相談等対応件数 (令和4年度)

東京信用保証協会	38件
東京都「地域金融機関による事業承継促進事業」	38件
東京都よろず支援拠点	4件
東京都中小企業診断士協会	2件
地方公共団体・商工会議所等	31件
士業(会計士・税理士等)	8件
● 合計	121件

3. 経営改善支援等を目的とした融資商品取組実績累計 (平成15年4月～令和4年9月)

● 商品名：「リニューアル」・「キャピタルプラス」・「二世代」・「オーナー」等	384件	67,573百万円
---	------	-----------

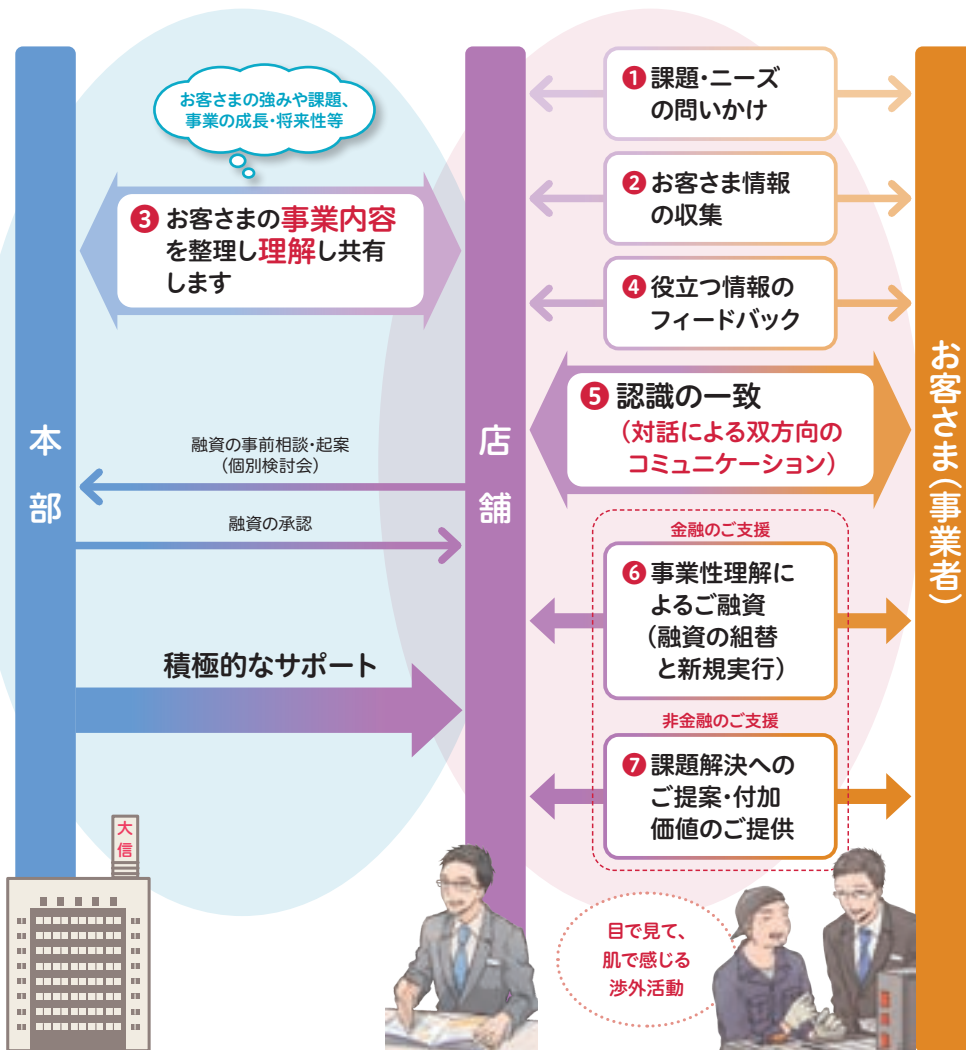
対話を通じた事業性理解への 取り組みについて

大信は、お客さま一人ひとりの事業に寄り添い、対話による双方向のコミュニケーションを通じて、お客さまが直面するさまざまな経営課題について解決策をお客さまとともに考え、店舗および本部が一体となってご支援させていただきます。

そのために、渉外担当者をはじめ職員一人ひとりが、日々の業務活動を通じてお客さまの事業をよく理解し、お客さまのライフステージに応じて事業に役立つ情報をタイムリーにご提供するほか、将来に亘り安定的な成長・繁栄につながる“新たな価値”をお客さまとともに創造してまいります。

事業性理解に向けた7つのプロセス ～Seven processes～

大信はお客さまの**事業を理解**し、最適なお提案に向けて骨身をおしませ行動いたします



大信は、地域の発展とお客さまとの共通価値の創造・共存共栄を果たすべく、金融仲介機能を十分に発揮し、皆さまのベストパートナー・バンクを目指して歩んでまいります。

地域経済活性化の取り組み



“だいしん”ビジネスマッチング掲示板

ビジネスマッチング掲示板は、お客さまの「商品・製品をPRして販路を拡大したい」「こんな商品・製品・事業者を探している」等のニーズにお応えするため、当組合のイントラネットに開設した掲示板です。

掲示板を利用した販路拡大の事例

事例① 美容業×建設業

- 美容室を営むお客さまより店舗増床に伴う内装工事の相談を受け、ビジネスマッチング掲示板への登録をご提案
- 美容室の内装工事希望の情報をビジネスマッチング掲示板に登録し、全店舗で情報を共有
- 掲示板を見た他店舗が、多くの美容室の内装工事を手掛けた実績のある取引先事業者をご紹介し、成約につながる



また、組合内だけのマッチングだけでなく、都内の他信用組合とお取引されているお客さまとのマッチングを実現するため、一般社団法人東京都信用組合協会が運営するサイト「くみちゃんの縁結び」も活用しています。本サイトには、都内19信用組合の取引先が登録されており、信用組合のネットワークを活かすことで、今後一層マッチングの成約数の増加を目指します。

掲示板等の活用により、令和4年度上半期に14件(累計：45件)のマッチングが成立しました！
掲示板への登録等については、地域の担当者まで、お尋ねください。



オンライン勉強会



お客さまが抱える様々な経営課題等の解決に向け、直接お客さまと接する営業店職員のレベルアップを図るために定期的にオンライン勉強会を開催しています。

各回テーマを定めることで、実践に役立つスキルを身に付け、日々の活動に活かしています。

また、本業支援における担当者の気づきの力・発想力・提案力を引き出すためには役席者によるマネジメントが重要な要素となることから、8月からは、従来のオンライン勉強会に加え、店長席・役席者を対象とした「事業支援マネジメントシリーズ」も開催しています。

ランチプロジェクト

飲食業を営むお客さまから、お弁当等を購入し、応援するランチプロジェクトは、現在も本部および各営業店において継続的に実施しています。

また、日本酒やワイン、ぶどう、焼肉セット等を購入して応援するお取り寄せプロジェクトも実施しています。



する取り組み

外部専門家・専門機関との連携について

お客さまが抱える悩みや課題に合わせ、外部専門家・専門機関と連携しながら、解決に向けた伴走型支援を展開しています。

取り組み事例

地方公共団体・商工会等

● 業務用機器・販促品の開発・製造を営む取引先

大手企業と共に商品の共同開発および製造を行っていたが、コロナ禍で殆どの受注が中止、延期となり業況悪化。経営改善に向け東京商工会議所の中小企業活力向上事業を活用し外部専門家派遣による経営改善に取り組んでいる。今後は特定の大企業依存体制から脱却し、中小企業を含めた多数の企業との取引で事業の安定化を図るべく外部専門家と共に販路開拓に取り組んでいる。

● フレンチレストランを営む取引先

フレンチレストランを運営していたが、コロナ禍や円安、材料費高騰の影響から集客の減少、利益率の低下により業況悪化。価格の見直しや販路拡大の為、商工会議所の活用を提案。商工会議所の専門家より原価設定・利幅、卸売価格の見直しのアドバイスを受け、経営改善に取り組んでいる。また、信用組合業界が主催するオンライン商談会にも参加し販路拡大に向け取り組んでいる。

● 割烹料理店を営む取引先

業歴36年を有する割烹料理店。企業の接待によく利用され繁盛していたが、時代の流れから接待は減少傾向で、更にはコロナ禍により利用客が激減。経営改善と新たな販路拡大のため、東京都中小企業振興公社の制度を提案。財務面は顧問税理士に一任。助成金を活用し、一般向けや贈答用として、オリジナルドレッシングの販路開拓に取り組んだ結果、売上増加に繋がった。

事業承継促進事業

● サウナ・貸スタジオ業を営む取引先

業歴90年以上の実績がある企業で、3年前にサウナ室の老朽化に伴い改装リニューアルするも、代表者から事業を御子息へ承継する相談を受ける。事業承継促進事業の外部専門家派遣を提案。専門家との面談も順調に進み、事業承継を実施する方向となった。事業承継の進め方に悩まれていたことから、課題解決に向け伴走支援することが出来た。

● 美容室を営む取引先

業歴70年以上の歴史を誇る企業で、事業承継が課題となっていた。その様な中、新事業として自社ブランド製品の開発を行うことを決断。事業承継については事業承継促進事業を活用し、専門家の指導を受けながら親族承継を進めている。新事業については東京都のビジネスチャンス・ナビを活用し、製品開発を支援する企業とマッチングし、自社単独では困難な新製品開発に着手した。

事業再構築補助金

● ヨガ教室を営む取引先

ヨガスタジオを2店舗経営する企業で、コロナ禍により生徒数が大幅に減少し、厳しい状況が続いた。その様な中、アフターコロナを見据えた取り組みとしてオンラインのヨガ講座を考案。業態転換になることから事業再構築補助金の活用を提案し、採択となる。オンラインによる新たなヨガ講座を開設したことで、売上拡大に繋がった。

● 外国人向け料理教室を営む取引先

外国人観光客の増加を機に、インバウンド向けの料理教室を営んでいたが、コロナ禍により利用が激減したため、事業再構築補助金の活用・申請に向け外部専門家を紹介。近隣にてアクセスのよい古民家物件の購入をきっかけに、補助金を活用して古民家カフェに業種転換する内容で採択となった。これにより、客層が広がったことで売上拡大に繋がった。

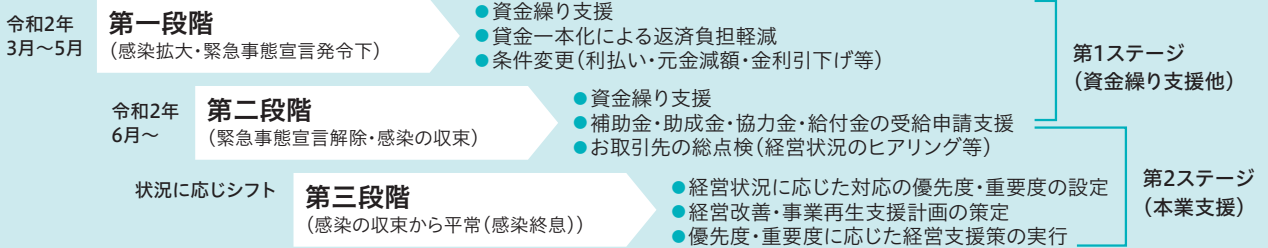


事業先の資金繰り対応と連動した本業支援活動の強化に向けて —「新型コロナウイルス感染症対応プロジェクトチーム (略称:コロナ対応PT)」を設置—

【新型コロナウイルス感染症に対するお取引先支援および態勢整備】

お取引先への本業支援(共通価値の創造)

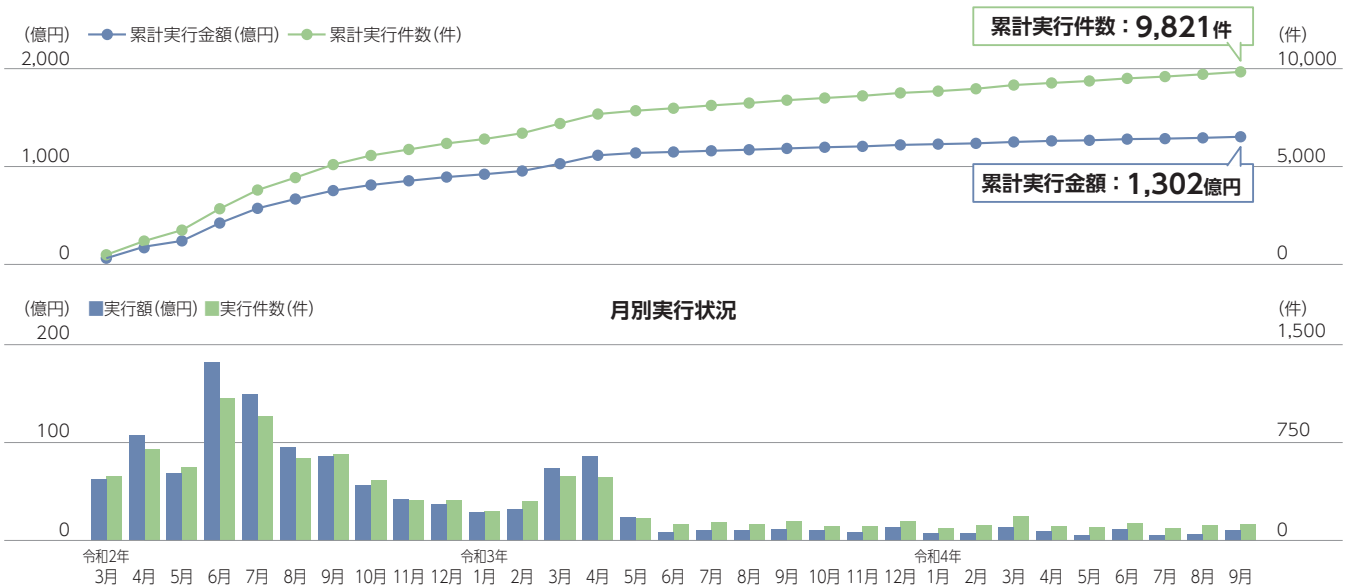
- 感染拡大時における、第一段階では、事業継続と倒産防止のための金融支援に積極的に取り組みます。
- 危機収束に向けて第二段階以降は、金融支援に加えて非金融型の本業支援が主体となりますことから、これまで以上に、ヒアリングを通じた事業性評価により経営者の皆さまと課題・問題を共有し、ハンズオンでの伴走型支援を展開いたします。



こうした各段階の取り組みこそが、当組合が目指している事業性評価を基にした「良質な金融仲介機能の発揮＝本物のお客さま本位による良質なサービスの提供」そのものです。

- 主な本業支援策 ①販路開拓支援 ②リストラ型事業再生支援 ③事業承継支援 ④その他支援(IT化・情報発信、大信ネットワークの活用、等)

金融サービスを通じたご支援 (感染症関連融資の取組実績)



「新型コロナウイルス感染症の影響に係るご相談窓口」の設置

令和2年2月21日より、新型コロナウイルス感染症の影響を受けるお客さまからの資金繰り等、ご融資全般に関するご相談にお応えするため、全店舗に相談窓口を設置しています。

全店で 「認知症サポーター講座」を受講

当組合では、認知症に対する正しい知識を備えることでお客さまへの対応に役立て、地域における相互扶助・連携等による地域社会づくりに



に貢献することを目的に平成29年度に全店で「認知症サポーター講座」を受講しております。それから5年が経過し、高齢化社会が進む中、さらに認知症への理解を深め、認知症の方への接客時の気遣い、気配りに取り組むことが必要であることから、改めて全店において本講座の受講を開始いたしました。

「“だいしん”経営支援策」冊子の発行

経営改善・事業再生、創業、各種補助金申請など本業支援策をまとめた冊子「“だいしん”経営支援策」(改訂版)を発行いたしました。本冊子は、コロナ禍において新たに開始した取り組みを含め、支援策を網羅的に掲載しております。当組合では、令和2年度より、本業支援を最重要課題に掲げ取り組んでいるところですが、職員一人ひとりの支援策への理解向上、コンサルティング機能の発揮をめざし、本冊子を活用しています。



お客さまに安心して ご利用いただくための取り組み

当組合は、東京都が策定した「事業者向け感染拡大防止ガイドライン」に基づく感染防止対策を徹底しています。

- 「新型コロナウイルス感染症に係る対策本部」を設置
- 「新型コロナウイルス感染症対応基本計画書」および「業務継続計画(BCP)」の暫定版を策定
- 「感染防止徹底宣言ステッカー」の店頭掲示
- 全職員に出勤前の健康チェックと業務中のマスク着用の徹底
- 利用者用の消毒備品等の設置
- 店舗内施設・設備の定期的な消毒・換気の実施
- 店舗の受付カウンター・応接室に「飛沫防止スクリーン」を設置
- 大型空間除菌脱臭機の設置
- ハンドタオルディスペンサーとペーパータオルの設置
- 聴覚障がい者に配慮した「近大マスク」の活用
- 体温測定装置・消毒液ディスペンサーが一体となった「けんたろうさん」の導入

お客さまサポートと 感染防止への取り組み

大東京信用組合は、今こそお客さまならびに地域の皆さまに寄り添い、協同組織金融機関としての使命を果たすべく、お客さまの資金繰りや事業継続のご支援を最優先課題として取り組んでまいります。



大信のSDGsへの取り組み

大信は、金融サービスの提供にとどまらず、地域社会の課題解決と成長を通じて、持続可能な社会の実現を目指し、様々な取り組みを実践しています。

都信協主催SDGs体験会 (ワークショップ型)に参加

7月7日(木)、全国信用組合会館において、都内11信組・1団体(全信組連)から総勢69名の若手職員が参加し、「SDGs体験会」が開催されました。

当日は、カードゲームを通じて、子供の貧困や介護問題など地域の課題解決への貢献を目的とする内容で、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念を正しく理解し、信用組合として目標達成に向け体験するとともに、信用組合間を超えた若手職員同士のコミュニケーションの場として有意義な人事交流が図られました。



挨拶される都信協 柳沢会長



体験会風景

環境省「つなげよう、支えよう 森里川海プロジェクト」に賛同・登録

本プロジェクトは、国民全体で「自然資源(森里川海)を豊かに保ち、その恵みを引き出すこと」「一人一人が、森里川海の恵みを支える社会をつくること」を目的として、環境省が起ち上げたものです。当組合では、令和元年10月に大信SDGs宣言を行い、その実現を目指している状況ではありますが、その活動の一環として、令和4年6月15日に本プロジェクトに賛同・登録いたしました。

ESG投資の実施

- ESGとは、Environment(環境)、Social(社会)、Governance(企業統治)の頭文字をとったものですが、企業経営や成長においてこれらの観点を組み込むことによって、持続可能な社会の形成に役立つことを示した投資における判断基準の一つです。
- 大信では、平成31年2月より、主に債券投資の購入時にESGによる判断基準を優先的に適用しております。
具体的には、債券の発行体が環境改善効果をもたらすことを目的としたプロジェクトに資金を調達するためのグリーンボンド、グリーンボンドの一種であり、温室効果ガス排出削減に向けた移行戦略に資金を調達するトランジションボンド、社会的課題の対処に向けた事業を資金用途とするソーシャルボンド、ソーシャルボンドの一種であり、ジェンダー平等やエンパワメントを資金用途とするジェンダーボンド、環境・社会的課題の解決に資する事業のためのサステナビリティボンドの各区分となります。
- 令和4年9月までのESG投資実績は、下表のとおりであります。
なお、投資先の内容等については、当組合ホームページをご覧ください。

(額面単位:百万円)

	令和4年9月		令和3年度まで		累計	
	銘柄数	額面	銘柄数	額面	銘柄数	額面
グリーンボンド	8	1,400	64	9,200	72	10,600
トランジションボンド	5	900	1	100	6	1,000
ソーシャルボンド	—	—	12	1,300	12	1,300
ジェンダーボンド	—	—	1	100	1	100
サステナビリティボンド	10	1,700	22	3,700	32	5,400
合計	23	4,000	100	14,400	123	18,400

世界の投資家が重視し始めている、 ESG投資

ESG投資とは、環境・社会・企業統治に配慮している企業を重視・選別して行う投資のことです。ESG評価の高い企業は事業の社会的意義、成長の持続性など優れた企業特性を持つと言えます。

環境に配慮(二酸化炭素の排出量が多くないか、環境汚染をしていないか、再生可能エネルギーを使っているかなど)



社会に貢献(地域活動への貢献、労働環境の改善、女性活躍の推進など)

収益を上げつつ、不祥事を防ぐ経営

地元に着した地域貢献活動

地域行事への参加を通じて地域の活性化をお手伝い

祭礼や交通安全活動などの地域行事への参加を通じて、地域の活性化をお手伝いしました。



荻窪支店

荻窪北口大通り商店街の「花プロジェクト」に参加



吉祥寺支店

「吉祥寺秋まつり」に参加



亀戸支店

西大島交差点にて歩行者へ交通安全グッズの配布



青山支店

「TOKYO燕プロジェクト」に参加



東大和支店

「富士見通り商栄会七夕祭り」に参加



八王子営業部

「伝承のたまてばこ〜多摩伝統文化フェスティバル2022」に参加

一般財団法人あすなろ会

一般財団法人あすなろ会に対して60年間、物心両面にわたり支援

(一財)あすなろ会の活動は、英会話教室・茶道教室などの教養教室の他、祝成人・新年のつどい、あすなろ祭等のイベント、さらに中小企業経営者を対象とした中小企業経営環境研究会、大信と共催の合同時局講演会等多岐にわたり行われています。大信では、このような(一財)あすなろ会の活動に対して基金・寄付金などを拠出、同会事務所の提供、職員の派遣などの支援を継続しております。これらの活動基盤は大信と大信全店舗のお取引先1,000社を超える賛助会員のご協力によって支えられております。

『お客様相談室』

大信は、お取引の店舗窓口でご相談等をお受けするほか、本部でも、お客さまとのホットラインの役目を担う「お客様相談室」を設置し、お客さまが、安心してお取引いただけるよう、信頼関係強化に努めております。

フリーダイヤル 0120-402-003

受付時間 当組合営業日の9:00~17:00

大信の取り組みを知る編

CONTENTS

大信のトピックス

P18へ

お客さまサポートと感染防止への取り組み

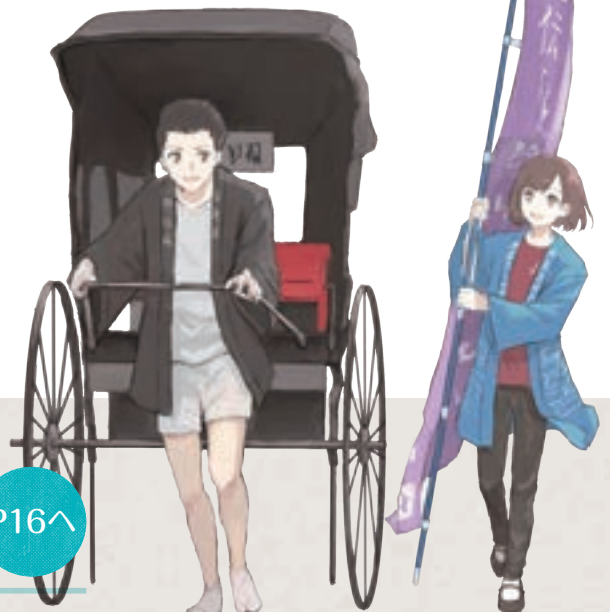
P16へ

大信のSDGsへの取り組み

P17へ

地域経済活性化の取り組み

P12へ



大東京信用組合 2022年度上半期 ディスクロージャー誌〈情報編〉

大信 Report

2022

大信の取り組みを知る編

2022年4月1日から
2022年9月30日まで



大信の取り組みについてはこちらから

大東京信用組合 本部

〒105-8610 東京都港区東新橋2-6-10
TEL 03(3436)0111(代表)

心・ふれあい
 **大東京信用組合**
<https://www.daisin.co.jp/>